

第8回全国書写書道伝統文化大会
令和元年度全国年賀はがきコンクール

【中央審査委員会賞】

東京都・中野区立中野東中学校1年
鈴木 苺亜

後悔は自分への応援歌

書道を初めた頃、硬筆は毛筆よりも苦手意識があり、字形を整えることばかり考えて書いていました。筆圧の濃さの調節、1つの線から線への繋がり、太さなどが上手い具合に書けず、最後まで真剣に書くことをせず、途中で手を抜いてしまうこともありました。

中学生になって行書を書き始めるともっと上手く書けなくなりました。何回も消しゴムで消し直してとても苦戦したのを覚えています。

上手くいかなくて悔しい想いを何度もしました。あそこをもうちょい練習しておけば良かった・・・後悔する想いは、もっと良い作品にするための自分への応援だったのだと今は感じています。

それだけではなく、この賞を頂けたのは日々ご指導くださる先生方や、家族などの支えのおかげです。今まで以上に努力していきたいです。